学校番号	3029

令和８年度 学ＳＳ理数

教科	学ＳＳ理数	科目	（学）理想（のぞみ）（課題研究分野）	単位数	理想(情報分野)と合わせて１単位	年次	1年次
校内名称	理想（のぞみ）（課題研究分野）					必選別	必修

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

これまでに学んできた数学の知識・興味を生かし、自分で選んだテーマについて研究し、まとめて発表をするという位置づけの科目です。数学的な考え方・手法・説明力をしっかりと身につけ、実行できる研究能力を養うとともに、自主性と独創性をもって数学と向き合うことができる人材になれるよう期待しています。
普段から身の回りの数学にアンテナを張り、日常生活と数学がどう関連しているかを考えることが重要です。

2　学習の到達目標

自分で選んだテーマについて研究し、基礎的な知識とともに発展的な内容の習得を目標とする。また、事象を数学的に考察し表現する能力を養い、校内発表に向けて、数学のプレゼンテーション能力の向上を目指す。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識･技能	b:思考･判断･表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。 数学において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学における数学的な見方や考え方を身に付けている。	数学の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

期間	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期期末考査まで	課題設定・資料収集・研究	課題設定 資料収集・研究 中間発表	a:今まで習得した、知識技能を活用している。 b:課題に対して論理的に考え考察している。 c:意欲的に研究、発表をしており、問題解決をしている。	発表資料	発表資料	発表資料
	発表・報告書作成	原稿の作成 発表 報告書作成		発表資料 課題 レポート	発表資料 課題 レポート	発表資料 課題 レポート

※　表中の観点について　　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に取り組む態度